

# 図書館だより

図書委員会版の図書館だよりでは、図書委員の広報係がおすすめの本をPOPで紹介しします。今回は3年生が担当で、新しく入った本から紹介する本を選びました。作成したPOPは、本と一緒に図書館内に展示しています。皆さん、見に来てください!

また、通常の図書館だよりはクラッシーでお送りしていますので、そちらもご覧ください。

## 「薬屋のひこりごと」

日向夏(著) ヒーロー文庫

中華風帝国を舞台に、主人公「猫描」(マオ)が薬学の専門知識を用いて事件の謎を解いていく、ミステリー、ファンタジー、そしてライトコメディの作品です。

現在、アニメもスレット放送中!!



## 「人魚が逃げた」

青山美智子(著) PHP研究所

ある3月の週末、SNS上で「人魚が逃げた」という言葉がトレンド入りした。どうやら「王子」と名乗る謎の青年が銀座の街をままお歩き、「僕の人魚がいなくなりました。逃げたんだ。この場所に」と語る。どうやら「王子は人魚と再会できるのか。そもそも人魚はいるのか、いないのか。」

## 世界が青くなったら

武田綾乃(著) 文藝春秋

- もし朝起きたとき、大事な人が存在ごと消えていたら?
- もしあの時、別の決断をしていたら?
- もしもう二度と会えない人と会うことができたなら?

誰もが出会うifをあなたに問いかける物語

## 世界が青くなったら

- もし朝起きたとき、大事な人が存在ごと消えていたら?
- もしあの時、別の決断をしていたら?
- もしもう二度と会えないと思っていた人と会うことができたなら?

誰もが出会うifをあなたに問いかける物語

# 街角 ファンタジア

街角で出会う優しい奇跡  
愛に包まれたように、  
心を暖めさせてくれる  
優しいイラスト。



『街角ファンタジア』

村山早紀(著) 実業文芸社

昭和から令和にかけて失恋や不安を抱えた人々が  
街角で優しい奇跡と出会う。迷い猫や小栗かい街の  
風景、小とした出会いが閉ざされていた心を少しずつ  
ほぐしていきます。読後には、優しい温もりが心に  
残り、5つの物語からなる短編集です。

『裁判員 17人の声 ある日突然「人を裁け」と  
言われたら?』 牧野茂,大城聡(著) 旬報社

この本は裁判員制度で選ばれた方々の  
意見や今後の課題が書かれているので、実際に  
裁判員を経験した方の本当の声を知ることが  
出来ます。将来裁判員制度で選ばれたときに  
不安や疑問を感じている人に読んでほしいです。

ある日突然

人を裁け

と言われたら?



裁判員  
17人の声

ケツカに  
なるのが怖い

SNSや反応  
が気になる...

# 友だちが 「しんどい」がなくなる本

ついでに  
友だちに  
合わせてもらう

本書を語る  
相手はいない

『友だちがしんどいなくなる本』

石田 光規 (著) 講談社

SNSが広く使われている現代、  
いつでも、誰とでも聞かれる、だからこそ  
『友達』の定義、接し方も大きく変化して  
います。最近、「友だちがしんどいかも...」  
そんなあなたに読んでほしい1冊です。

『謎の香りはパン屋から』

土屋うさぎ(著) 宝島社

2025年第23回「このミステリーがすごい!」  
にて大賞を受賞した日常にある謎を解  
き明かしていく優しいミステリーです。  
これを読んだあなたはあなたもきっと  
「パンが食べたくなるはず」...!!

謎の香りはパン屋から

The mysterious scent comes from the bakery

焼き立てのパンの香りに  
つまれた日常ミステリー

漫画家を目指している市倉小春  
は「パン屋」ミステリーでアルバイト  
をしている。彼女の周りで起こ  
る小さな謎を美味しいパンと共に  
解き明かしていく。

